

施設の短期中期のサービス向上への取り組み

1. ルール、手順に基づく業務管理
  - (1) 事業責任者（管理者）の育成  
各事業責任者が先頭に立って法令に基づいた業務を管理する。事業責任者の意識的な業務が、次の世代を育成することにつながる。
    - ① 勤務管理表の定着および東京都の自己点検シートの活用
    - ② 稼働率および配置に見合った担当件数の確保
    - ③ 自分たちが誇りを持って行っていることは何かを意識化・言語化する。自己点検シートなどではわからない大事なことがある。
  - (2) 家族支援システムの定着化  
業務管理を日常的・効率的に確立するためのツールとして、家族支援システムを改めて認識し活用する。
  
2. 各事業、施設としてのサービスの向上
  - (1) 利用者の個を尊重するということがどういうことか、そのためには何をしたらいいのかをチーム目標のテーマとし、OJTに臨む。
  - (2) 在宅 24 時間支援体制の確立に向けて
    - ① 施設連携を基盤とした新事業への挑戦
    - ② あんしん・居宅・訪問連携の拡大・充実
  - (3) ホーム 24 年度新体制の検証と次への課題の抽出
  - (4) 福祉機器の計画的な導入および定着化
    - ① 現在使用中の福祉機器の再検証
    - ② 業務に必要な福祉機器の検討および提案
  - (5) 地域ニーズを反映した神田における事業の再編成を、神田事業所の岩本・連雀総体として検討・具体化する。
  
3. リスク管理
  - (1) 緊急時の対応に学ぶ高齢者像の再認識  
現場レベルでの理解と看取りに対する理解の深化
  - (2) BCP 策定へ向けて  
20121122 法人防災訓練の再検証と毎月の訓練への反映
  
4. 建物管理
  - (1) 中期長期修繕計画の策定に向けて  
24 年度に実施した建物診断の結果を踏まえて
    - ① 25 年度に可能な修繕の実施
    - ② 今後 3～5 年間の修繕計画の策定

施設の取組

1. 4 年振りに開催される神田祭を利用者が楽しむ企画作り
2. 根強くある職員の「ひとり感」をどう考え、対処していくか（24 年度サービス評価意見交換会より）
3. 夜勤看護師配置の安定化
4. 27 年度開設予定の高齢者総合サポートセンター機能について、千代田区で事業を実施している立場から提案をしていく
5. 会議室に設置した書棚の活用と文書管理